

皆様から寄せられた貴重なご意見より

待合室に  
アンケート用紙を  
ご用意しております

## 謹賀新年

本年も皆様のご意見をお聞かせください。

### 【患者様からいただいた感想】

#### 【1】

坪院長、竹内先生、仲山先生へ  
毎日の訪室ありがとうございます。  
血液透析への決断は本人に任せるしかありませんが、自覚してもらうよう、サポートして行こうと思っています。  
悪い所を取っていただきありがとうございます。これからもお世話になります。よろしくお祈りします。  
看護師さんへ  
何度も手術で入院させていただき、ありがとうございました。いつもやさしい言葉をかけていただき感謝しています。

21年12月 長万部 S・Nの妻

#### 【2】

うちのじいちゃんがたすかっています。ありがとうございます。

21年10月 匿名

### 坪院長の健康講座

## 前立腺癌について

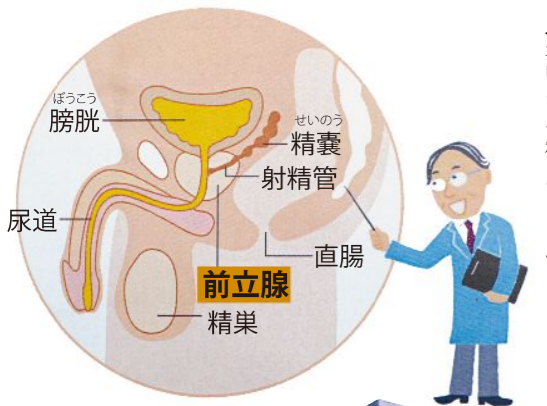
《その1》

院長 坪 俊 輔

今回は「前立腺癌の早期発見のためにPSA」という腫瘍マーカーの測定が重要だ」というお話をします。  
前立腺という臓器は男性にだけあり、図のようにクルミ型をしていて、膀胱を出てすぐの所で尿道をとり巻くようにあり、精液の一部である前立腺液を作って、精子の働きを助けています。  
さて近年、日本人男性の前立腺癌患者数は急増しており、2020年には胃癌を抜いて、男性の癌患者数のなかでは、肺癌に次ぎ第2位になると予測されています。これは高齢化が進んでいることに加え、食生活の欧米化などの生活環境の変化が大きく関わっていると推測されています。



す。ちなみにハワイ在住日系人の前立腺癌罹患率は、日本に住む日本人の5倍以上といわれています。  
ところで、前立腺癌は早期に発見し早期に治療できれば根治する可能性が高い病気ですが、初期には殆どの場合にはつぎりした自覚症状がありません。では早期発見のためにはどうしたらいいのでしょうか？前立腺癌にはPSA(前立腺特異抗原)という腫瘍マーカーがあり、少量の採血で容易に測定できます。このマーカーは前立腺癌に特異的かつ鋭敏で、また病気の進行具合を良く反映します。PSAの定期的検査で数値の変化を見る事が前立腺癌の早期発見につながるのです。  
50歳を過ぎたら年に一回、もし前立腺癌の家族歴のある方であれば40歳代から検診などで定期的にPSAの測定を受けるのが望ましいと思われまます。ちなみにPSAの正常値は一般的に4.0ng/mlとされていますが、厳密には年齢により正常値が多少変わってきます。40歳代半ばでの2.5、50歳代前半での3.5はやや高いと判断されます。検診などでのPSA値の評価にはこの辺りのことが加味されていませので、



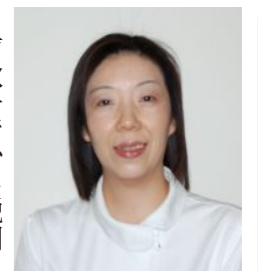
検診結果などに疑問の残る方は一度専門医に相談するのが良いと思います。なお、PSA値が4.0~10.0の範囲はグレーゾーンとよばれ、前立腺癌の可能性が約20%とされています。  
以上、今回は前立腺癌の早期発見のために、腫瘍マーカーであるPSA測定の重要性につきお話ししました。前立腺癌が疑われた時の実際の診断法、また前立腺癌の治療法については次回春季号にてお話しする予定です。前立腺癌は早期発見が根治の可能性を高め、治療法のオプションを拡げます。50歳を過ぎた男性は年に一回検診などでPSA検査をお受けになること、そして少しでも排尿に異常を感じたら、念の為に専門医の受診をお勧めします。

明けましておめでとうございます

皆様とともに歩む  
クリニックを目指して！  
おかげさまで開院5周年



## 「介護保険制度について」その2



外来看護師長  
高場 真佐美

前秋号で少し説明させて頂いた介護保険制度申請と、そのサービス内容についてご紹介したいと思います。  
介護認定の申請は、お身体や精神上的の障害により日常生活に支障が生じ、継続して介護を必要とする場合に行います。  
申請方法には、ご本人やご家族が市役所の介護福祉課で申請する他に、居宅介護支援事業所や介護保険施設での代行申請も依頼できます。申請後は市から委託された職員がお宅に訪問し、お身体や生活状況の調査を行います。さらにかかりつけの主治医からの意見書も踏まえたうえで、介護認定審査会で医療・保健・福祉の専門家により、介護の必要性やその程度などについて審査され、申請から約30日後で結果が通知されます。  
介護区分決定後に在宅サービスを利用しようとする場合、居宅介護支援事業所を選び、サービスプランの作成を依頼します。

このように介護保険のサービスは、ご本人の状況にあったサービスを受けることで、できる限り自立した生活を送ることができるよう利用するものです。  
今回ご紹介する大体の概要は以上ですが、在宅で療養されている方々のお役に立てて頂けたらと思うと同時に、ご不明な点はいつでも外来受診時にお気軽に声をおかけください。



ます。その後、ケアマネジャーがその方のお宅に伺い、現在の状況や状態を観察するとともに、ご本人やご家族の思いを確認し、適切なサービスを提案し調整してまいります。その在宅サービスには、訪問看護・訪問介護・訪問入浴介護・訪問リハビリテーション・通所サービス・短期入所介護・認知症対応型共同生活介護(グループホーム)・福祉用具の貸与・住宅改修費の支給などがあります。

■発行：いぶりぶ発行委員会

伊達市梅本町2番地15いぶり腎泌尿器科クリニック内 ☎0142-21-1400 📠0142-21-1401

●発行責任者：横井 浩

■発行/平成22年1月10日 ■4月・7月・10月・1月の年4回発行  
※本誌掲載の写真、記事の無断転用は固くお断り致します。

●企画・制作：室蘭民報社  
室蘭市本町1-3-16 電話0143-22-5122

心の通う医療を追い求めて

スタッフ紹介

<取材/室蘭民報社>

梅田 理咲透析室看護師



「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

思いやりのある看護を…

開院時からの看護スタッフ、以前は室蘭市内の大型病院に勤めていた。キャリアは十年を超える中堅看護師といったところ。生まれは室蘭で、小学校から看護学校まで地元で学んだ。中学、高校の六年間はバスケット選手として活躍したスポーツウーマンでもある。

年子で二人の男の子を授かり、現在育児と仕事の両立を図るべく奮闘中のママさん看護師だ。「子供ができ、命の尊さを実感した分、看護という仕事への怖さも感じるようになった」と母親になり、意識が大きく変化したという。

患者さんとの距離感を大切に

中田 光子透析室看護師



室蘭出身で登別育ち、高校まで地元で過ごし、伊達市内の看護学校で資格を取得した。約三年間、登別市内の病院でキャリアを積むが結婚を機に主婦業に専念、子育てに追われる日々を送った。

二年半前、当クリニックで十六年ぶりに現場復帰した異色の経歴を持つ。「化石状態で、いまだ周囲に迷惑をかけてます」と笑う。「いろいろな土地で様々な人と触れ合ってきた社会経験を仕事に活かしたい」と前向きな一面もぞかせる。

仕事の自己評価は「評価不能」と大声で笑うが、自分に偏らず、「患者さんと良い距離感を保ちたい」と冷静だ。プライベートでは子供の影響からプロ野球、日本ハムに夢中、自他共に認める大ファンとなり、チームの活躍を日々のエネルギーに換えている。

阿部 素子病棟看護師



日本女性らしい奥ゆかしい雰囲気を持つ阿部看護師。旧虻田町の出身、父親の仕事の関係で一時期福島県で暮らしたが、ほぼ虻田育ち、地元で学び、伊達市内の看護学校に進学した。

看護の世界に飛び込んだのは、高校時代友人に誘われ、模擬試験を受けたのがきっかけで感心を持ったから。すでに十年を越すキャリアを誇り、昨年一月に「環境を変えよう」と当クリニックに職場を変えた。「人と接するのも勉強」と日々の業務に励む。

看護の仕事は「正直むずかしいが、良い経験となる」と常に全力投球を目標とする頑張り屋さんだ。趣味は旅行、これまでタイやフランス、イギリスなどを訪れ、異文化に触れてきた。「相手の気持ちを理解できる仕事を」と精神的に動き回っている。

相手の気持ちを理解する仕事を…

笑顔で帰ってもらえる仕事を…

重山 美千代透析室看護助手



透析の看護助手は三十年近いキャリアを持つ。患者さんからの「ありがとう」の言葉と、その奥深い意味が最大の励みになるという。出身は鉄のまち・室蘭。新日鐵の社宅が建ち並ぶ蘭東地区で育った。

将来は保育士の夢もあったが、看護助手の募集を知り、興味を惹かれ応募し採用されたのが伊達日赤病院だった。「母方の祖父母が伊達で、馴染みのある病院だったので迷いはなかった」と振り返る。

日赤時代の医師が坪院長で、独立・開業と同時に現クリニックへ移った。「良い意味で先生らしくなく、尊敬して貰います」と信頼を寄せ、現在では一人息子の龍二さんも臨床工学技師として同じ職場で働く。「正直やりづらい面もありますが、そこは気にせず」と割り切るが、なぜかニコニコ嬉しそうだった。

斉藤 美雪医事課係長

働きやすい環境づくりを



企業でいえば営業課になる医事課の核として活躍中、「働きやすい環境」と精神的に動きまわる。「地域社会に貢献できる医療機関に」と目標を掲げ「住民皆様の不安を解消できるクリニックを」と張り切っている。

見た目通りの「しっかり者」といった感じの斉藤さん。元々は地元の伊達信金で窓口を担当していた信金レディ。出身も育ちも伊達という根っからの伊達っ子だ。地元の小中学校を卒業し、室蘭の高校へ進学、高校三年間は皆勤賞を誇り、しっかり者の片りんをのぞかせたが、「丈夫なだけ」という声も聞かれた。

信金退職後、縁あって病院に勤務したのを機に「資格を取りきつちりしたほうが」と医療事務を猛勉強、見事目標を達成した努力家でもある。当クリニックは開業準備室時代からのスタッフだ。

門脇麻美看護師が室工大国際セミナーで体験談発表

青年海外協力隊で訪れたネパールでの看護体験談を民族衣装で講演



当クリニックの病棟看護師、門脇麻美さんが昨年10月行われた「室蘭工業大学国際セミナー」に講師役で参加、青年海外協力隊員として訪れたネパールでの体験談を発表しました。

同セミナーは国際的な視野を拡げることが目的に、室工大国際交流センターが主催する誰もが加えられる勉強会です。この日は「君にもできる国際協力」をテーマに同隊とシニア海外ボランティア募集説明会と体験報告が行われました。

門脇さんは2002年から2年半、ネパールのチトワン市に赴任した体験談を現地の民族衣装で発表しました。日本とは違う生活文化を理解することで感じ取れた「豊かさ」、人との出会いの大切さなどを講演し、海外での体験の素晴らしさを報告しました。



和気あいあいと行われた透析室忘年会

毎年恒例となった当クリニックの透析室利用者や家族、スタッフによる忘年会が先月十三日に伊達市末永町のホテル・ロイヤルで行われました。

パーティーは竹内副院長のあいさつと乾杯で幕開け、参加した三十三人が昨年の思い出話などに花を咲かせ、交流を深めました。

今年で五回目となる忘年会はすっかりお馴染みのイベントとなり、楽しみに待つ利用者、職員もいるほど。普段とは雰囲気違うホテルでの交流に、和気あいあいとした会話が弾み、次々と運ばれてくる料理に舌鼓を打ち、カラオケやゲームに興じるなど、楽しいひと時を過ごしました。

透析室忘年会を開催



「残響」

○：「残響」。聞きなれない言葉とは思いますが、音楽にとっては非常に大切な要素となる。楽器などが音を発し終えてから、その場所に残る時間を意味し、秒を単位として表す。音楽ホールでは残響一秒が珠玉の数値といわれ、世界に名だたるコンサートホールの残響は、当然この値に限りなく近い。

○：わが国初のコンサートホールとなった大阪の「ザ・シンフォニーホール」は、この珠玉の残響を目指し建設された世界初の近代建築といわれる。コンサートホールは十九世紀頃に建設されたものがほとんどで、なぜ残響一秒を実現したかは謎とされ、近代建築で再現することとは不可能といわれていた。不可能を可能にした日本の建築技術の高さが称賛されるが、その陰には様々な人間ドラマがあったようだ。

○：あのウィーンフィルの本拠地、楽友協会ホールは世界屈指のホールとされるが、1870年の建設。二重構造の床など建物全体が共鳴箱のような特殊な構造で、現在の法律により設計変更が禁じられるなど、市民理解のもと大切に保存、利用されている。オーケストラ自体も特定の指揮者による影響を懸念、独自のサウンドを市民が守り続ける運営は、長い伝統を感じさせる。

○：莫大な建設費と維持費が必要なコンサートホールは、日本では現実味のない施設と捉えられてきた。それがバブルの遺産か、地方にも建設され珍しいものではなくなった。道内でも札幌に「キタラ」が建設され、クラシック音楽の聖地となっているのは周知の通りだ。

○：だが、悲しいかな日本にはウィーンのような歴史も伝統もない。クラシックへの理解が高いともいい難い。悲劇を生む温床は確実にある。現にまったく利用されないホールがあり、「カラオケ大会をやった」など笑えない話も聞く。文化振興は重要で大切なことは間違いないが、上辺だけの議論は何の結果も生まない。長期的な展望や、何より「市民理解」が重要であることを、いま一度歴史から学ばねばと強く感じる。

心の通う医療を追い求めて

スタッフ紹介

<取材/室蘭民報社>

梅田 理咲透析室看護師



「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

思いやりのある看護を…

開院時からの看護スタッフ、以前は室蘭市内の大型病院に勤めていた。キャリアは十年を超える中堅看護師といったところ。生まれは室蘭で、小学校から看護学校まで地元で学んだ。中学、高校の六年間はバスケット選手として活躍したスポーツウーマンでもある。

「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

患者さんとの距離感を大切に

中田 光子透析室看護師

「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。



阿部 素子病棟看護師



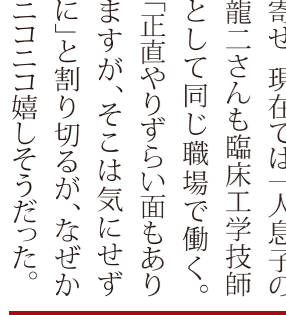
「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

笑顔で帰ってもらえる仕事を…

重山 美千代透析室看護助手



「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。



斉藤 美雪医事課係長

働きやすい環境づくりを



「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

「患者さんにとって透析は生活の一部、触れ合いにより理解度を高めたい」と意欲的に取り組む。「最近、仕事の奥深さがわかってきた」「思いやりのある看護を追求したい」と新たな目標に向かい邁進する。

門脇麻美看護師が室工大国際セミナーで体験談発表

青年海外協力隊で訪れたネパールでの看護体験談を民族衣装で講演



当クリニックの病棟看護師、門脇麻美さんが昨年10月行われた「室蘭工業大学国際セミナー」に講師役で参加、青年海外協力隊員として訪れたネパールでの体験談を発表しました。

同セミナーは国際的な視野を拡げることが目的に、室工大国際交流センターが主催する誰もが加えられる勉強会です。この日は「君にもできる国際協力」をテーマに同隊とシニア海外ボランティア募集説明会と体験報告が行われました。

門脇さんは2002年から2年半、ネパールのチトワン市に赴任した体験談を現地の民族衣装で発表しました。日本とは違う生活文化を理解することで感じ取れた「豊かさ」、人との出会いの大切さなどを講演し、海外での体験の素晴らしさを報告しました。



和気あいあいと行われた透析室忘年会

毎年恒例となった当クリニックの透析室利用者や家族、スタッフによる忘年会が先月十三日に伊達市末永町のホテル・ロイヤルで行われました。

パーティーは竹内副院長のあいさつと乾杯で幕開け、参加した三十三人が昨年の思い出話などに花を咲かせ、交流を深めました。

今年で五回目となる忘年会はすっかりお馴染みのイベントとなり、楽しみに待つ利用者、職員もいけるほど。普段とは雰囲気違うホテルでの交流に、和気あいな話や、次々と運ばれてくる料理に舌鼓を打ち、カラオケやゲームに興じるなど、楽しいひと時を過ごしました。

透析室忘年会を開催



「残響」

○：「残響」。聞きなれない言葉とは思いますが、音楽にとっては非常に大切な要素となる。楽器などが音を発し終えてから、その場所に残る時間を意味し、秒を単位として表す。音楽ホールでは残響一秒が珠玉の数値といわれ、世界に名だたるコンサートホールの残響は、当然この値に限りなく近い。

○：わが国初のコンサートホールとなった大阪の「ザ・シンフォニーホール」は、この珠玉の残響を目指し建設された世界初の近代建築といわれる。コンサートホールは十九世紀頃に建設されたものがほとんどで、なぜ残響一秒を実現したかは謎とされ、近代建築で再現することとは不可能といわれていた。不可能を可能にした日本の建築技術の高さが称賛されるが、その陰には様々な人間ドラマがあったようだ。

○：あのウィーンフィルの本

○：「残響」。聞きなれない言葉とは思いますが、音楽にとっては非常に大切な要素となる。楽器などが音を発し終えてから、その場所に残る時間を意味し、秒を単位として表す。音楽ホールでは残響一秒が珠玉の数値といわれ、世界に名だたるコンサートホールの残響は、当然この値に限りなく近い。

○：わが国初のコンサートホールとなった大阪の「ザ・シンフォニーホール」は、この珠玉の残響を目指し建設された世界初の近代建築といわれる。コンサートホールは十九世紀頃に建設されたものがほとんどで、なぜ残響一秒を実現したかは謎とされ、近代建築で再現することとは不可能といわれていた。不可能を可能にした日本の建築技術の高さが称賛されるが、その陰には様々な人間ドラマがあったようだ。

○：あのウィーンフィルの本

拠地、楽友協会ホールは世界屈指のホールとされるが、1870年の建設。二重構造の床など建物全体が共鳴箱のような特殊な構造で、現在の法律により設計変更が禁じられるなど、市民理解のもと大切に保存、利用されている。オーケストラ自体も特定の指揮者による影響を懸念、独自のサウンドを市民が守り続ける運営は、長い伝統を感じさせる。

○：莫大な建設費と維持費が必要なコンサートホールは、日本では現実味のない施設と捉えられてきた。それがバブルの遺産か、地方にも建設され珍しいものではなくなった。道内でも札幌に「キタラ」が建設され、クラシック音楽の聖地となっているのは周知の通りだ。

○：だが、悲しいかな日本にはウィーンのような歴史も伝統もない。クラシックへの理解が高いともいい難い。悲劇を生む温床は確実にある。現にまったく利用されないホールがあり、「カラオケ大会をやった」など笑えない話も聞く。文化振興は重要で大切なことは間違いないが、上辺だけの議論は何の結果も生まない。長期的な展望や、何より「市民理解」が重要であることを、いま一度歴史から学ばねばと強く感じる。